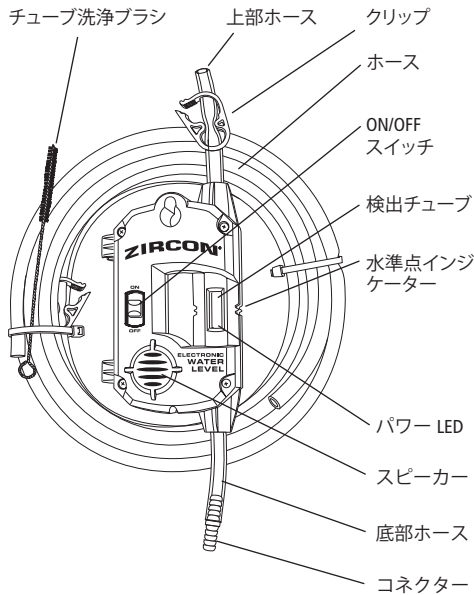


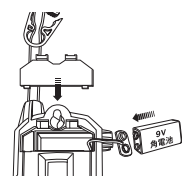
# WL 50

## 電子水もり管 (水準器)

Zircon® の WL 50 電子水もり管は、最高 15 m まで離れた場所での水準点を確定するのに理想的なツールです。単独作業、またはコーナー周りで視界が遮られている場合でも、正確で信頼できる測定を簡単に行うことができます。また、フェンスの設置や組み立て、テラス建造、配水管・配管工事、型枠の設定、石工事の仕上げや、屋内改築を含む数々の作業にも最適です。WL 50 は 15 m のホースを装備しています。



### 1. 電池交換の仕方



本体裏側にある電池カバー上部の「ツメ」を押して、カバーを外します。9V (ボルト) のアルカリ電池を端子につなぎます。この時、電池が正しく設置されたことを確認してください。端子につなかれた電池を電池ケースの中に取り込みます。カバーを元に戻し、パチンと音がするようにして閉じます。

Zircon は、米国 Zircon Corporation の米国登録商標です。

最新版の使用取扱説明書、または製品に関する詳細は当社ホームページ ([www.zirconinternational.com](http://www.zirconinternational.com)) をご覧ください。

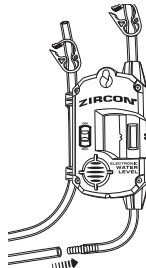


**限定一年間保証**  
Zircon Corporation (以下「Zircon」とする) は、本製品をお買い上げになった日から一年間、その部品および仕上げのどちらにも欠陥が無いことを保証します。保証の対象となる欠陥のある製品は、送料前払いの上、購入日を証明する書類を添えて、「Zircon」まで返送いただくことになります。このような製品については、Zirconの判断により修理または交換をさせていただきます。この保証は、電子回路および製品本来のケースに規定されるもので、誤用、不慮な使用、不注意などによる損傷は特に除外されます。この保証は、明示または黙示に問わずその他全ての保証の代わりとなるもので、その性質に関わらずその他のいかなる表示や主張も、Zirconを拘束したり義務づけることはありません。本製品に適用できる黙示の保証がある場合は全て、購入から一年間以内で限定されるものとします。本製品の所有、使用、または誤作動によって生じる特別損害賠償、付随的賠償賠償、あるいは間接的損害賠償については、いかなる場合にもZirconが責任を負うことはありません。

**修理・代替サービス**  
製品の取扱いには万全を期しておりますが、万が一製品購入後一年以内に修理あるいは代替サービスの必要が生じた場合は、送料前払いの上、相当の製品を下記の宛先までお送り下さい。この際、お名前と返信用の住所を必ず表記してください。限定期間内のサービスご請求の場合は、購入日を証明する書類 (日付付きの領収書) を添えてお送り下さい。この書類の添付なしに請求された限定期間外のサービスに関しては、修理後に代金引換 (着払い) にて返送させていただきます。

### 2. 使用前の準備

備え付けのコネクターを使用し、長いホースの一端を (本体向かって右側を突き抜ける) 短いホース下方の先端に接続します。短いホースは本体上部にも多少突き出しています。ホースに付いているクリップの一つが本体上部に伸びる短いホース上に、もう一つが長いホースの何も付いていない方の先端に取り付けられているのを確認してください。この時、必要であればクリップの位置を多少ずらしてください。



### 3. 水の挿入

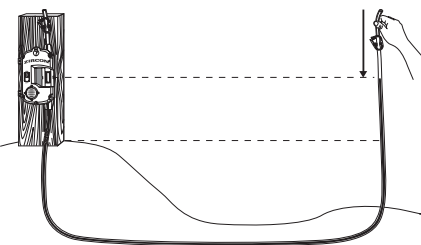
ホースをまっすぐに伸ばし、両方のクリップを上を持ち上げるようにして緩めます。バケツなどの容器に 2L (リットル) ほどの水道水 (蒸留水は避けて下さい) を入れます。水道水には本製品が正しく作動するために必要な塩分などの鉱物が含まれています。長いホースの自由な方の先端を容器の中に入れます。この時、ホース端が常時水の中にあるのを確認してください。短いホースの先端 (上部ホース) から、「サイフォン法」で水を吸い上げて挿入します。

作業場を確保する間、水が流れないように各ホース端のクリップを押して締めてください。不正確な読み取りを避けるため、水の入ったホース内にある大きな気泡は使用前に常に取り除いてください。両方のクリップを緩め、気泡が上昇するようにホースをゆっくりと振ります。

### 4. 本体の設置

本体右側面の水準点インジケータが希望する最終水準点の位置 (高さ) になるようにして WL 50 本体を取り付けます。

既に設定された水準点を基準に、本体を上下に移動させて異なる水準点を検出することができます。安定を確保するため、本体上部および底部の両方を固定してください。本体が左右に揺れると水位が変わり、読み取りが不正確になります。

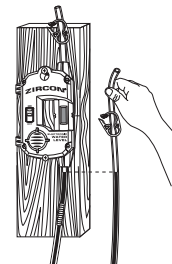


### 5. WL 50 の使用

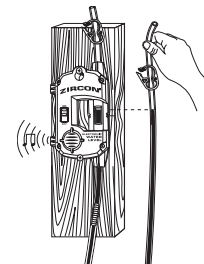
作業場本体を取り付け、ON/OFF スイッチを「オン」に切り替えます。ホース内の水位を本体側面にある水準点インジケータより下に維持するため、作業 (長い) ホース端を下方に位置づけます。短い上部ホース端のクリップを緩めます。ホースに結び目やよじれがないこと、さらに誰も足を引っ掛けたり踏んだり、作業中に邪魔が入らないことを確認してください。長いホース内の水位が水準点インジケータ位置 (またはその他の希望水準点) になるよう、自由な方の先端をゆっくりと上に持ち上げます。この準備ができるまで、ホース先端を本体より低い位置に保ちます。

水が流れ出ない程度の高さに長いホースを持ち上げ、クリップを緩めます。連続的なシグナル音が鳴り始めるまでホースをゆっくりと上に上げます。作業をする表 (壁) 面上で、ホース内の水位が本体水準点と一致する場所に印をつけます。

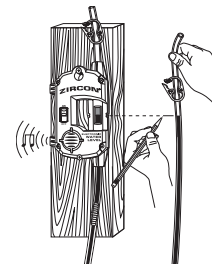
注: ホースを速く持ち上げ過ぎて水位が水準点を通り越し、断続的にシグナル音が聞こえる場合は、音が鳴り止むまでホースを低い位置に戻します。その後、もう一度ゆっくりと持ち上げます。ホースが長ければ長いほど水位が安定するまでに時間がかかります。



シグナル音が聞こえない。ホース内の水位が低過ぎる。



断続的なシグナル音が聞こえる。ホース内の水位が高過ぎる。



連続的なシグナル音が聞こえる。ホース内の水位が水準点に到達。

### 6. 設置と保管

場所によっては水中の鉱物 (ミネラル) 含有量が高く、検出チューブ内部にコーティングが生じる場合があります。検出チューブは、正確さを確保するために容易に洗浄できるようにになっています。鉱物の付着を少なくするため、夜間はホース/チューブ内に水を残さないようにしてください。

作業 (長い) ホース、コネクター、およびクリップを、本体から離してください。備え付けのチューブ洗浄ブラシを水で湿らせてください。検出チューブの中にブラシを完全に挿入します。接触部を洗浄するには、ブラシの毛を丁寧に回転させ、ブラシを取り出し、それから水ですすいでください。再びホースを接続すれば、再度水準器をご使用いただけます。

短い期間作業を中止する場合は、ホース内部に水を残しておくことができます。ホース各端のクリップを閉めた跡、注意してホースを巻いてください。

使用しない間の腐食を防ぐには、ホース両端のクリップを緩め、長いホースの端から水を排出してください。風通しが良く、日光が当たらない場所で、クリップを緩めたままの状態を保管してください。



チューブ洗浄ブラシ

### 7. 追加ホースの購入

本製品を取り扱っている小売店にて、7.5 m の追加ホースをお買い求めいただけます。小売店に在庫が無い場合は、小売店を通して追加注文も可能です。ホースの内径は 8 mm で、接続用のコネクターも含まれています。

### 8. 役立つヒント

状況	考えられる原因	解決方法
水位を確認するのが困難。	・水とチューブが透明である。	・水の挿入前に食品着色料を数滴垂らす。
水が凍っている。	・温度が下がった。 作業には寒すぎる。	・ホース内の水をウォッカと水の混合水に切り替える。
水準点が変わる。 読み取りが不正確。	・本体が左右に揺れる。 ・ホース (チューブ) 内に大きな気泡がある。 ・ホース (チューブ) によれや結び目がある。	・本体上部と底部の両方をしっかりと固定する。 ・両方のクリップを緩め、気泡が上に上がるようにホースをゆっくりと振る。 ・ホースを真っ直ぐにする。
作業場を準備・確保している間にホースから水が流れ出してしまう。	・クリップが緩んで (開いて) いる。	・ホースに水を挿入した後、常に両方のクリップを締める。
ホース内の水位が本体の水準点インジケータ位置に達してもシグナル音が聞こえない。	・水位が誤って読み取られている。	・常にホース (チューブ) を同じ角度から見て、本体の水準点インジケータと同じ場所に水位をマークする。
一定した、あるいは断続的なシグナル音が鳴らない。	・水準点検出用のピンが汚れている。	・ピンを清潔にするため、製品パッケージに含まれているチューブ洗浄ブラシを使用する。